

# 日本電信電話株式会社 会社説明会

2020年1月

証券コード 9432

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

- **株主還元**
- **NTTグループ概要**
- **中期経営戦略**
- **本日のまとめ**



- **株主還元**

- NTTグループ概要

- 中期経営戦略

- 本日のまとめ

## ◆ 配当政策

- 継続的な増配の実施を基本的な考えとする

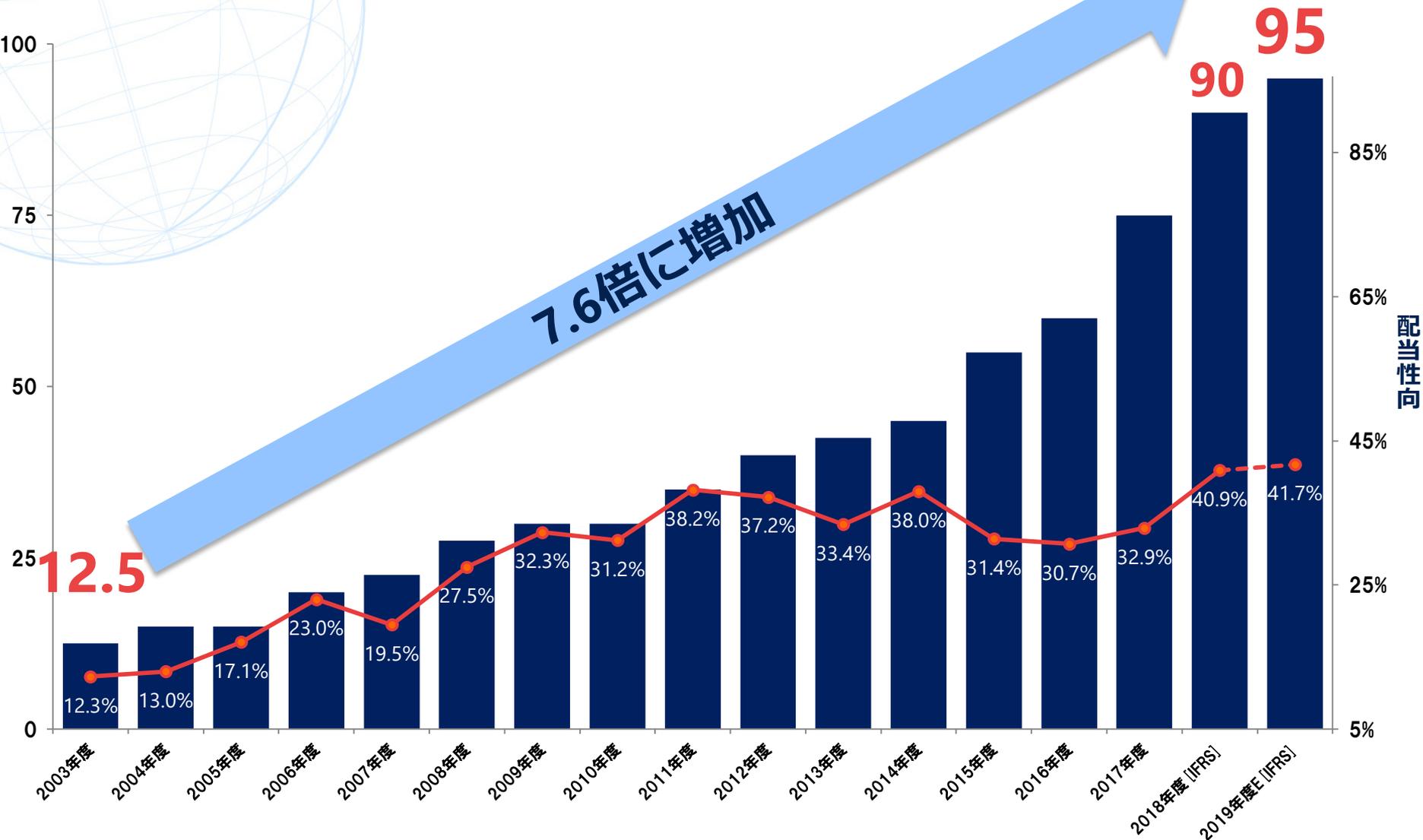
## ◆ 自己株式の取得

- 機動的に実施し、資本効率の向上を図る

# 配当の推移

(円)

一株当たり配当額



- 配当額は、2015年7月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を2株に分割）、及び2020年1月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を2株に分割）を考慮
- 2017年度以前は米国会計基準を適用

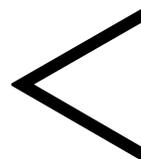
## 高い配当利回り

日本国債10年利回り

**-0.03%** <sup>\*1</sup>

東証1部平均  
配当利回り

**1.9%** <sup>\*2</sup>



NTT株  
配当利回り  
**3.4%** <sup>\*3</sup>

\*1 財務省公表「国債金利情報」(2020年1月7日)を基に算出

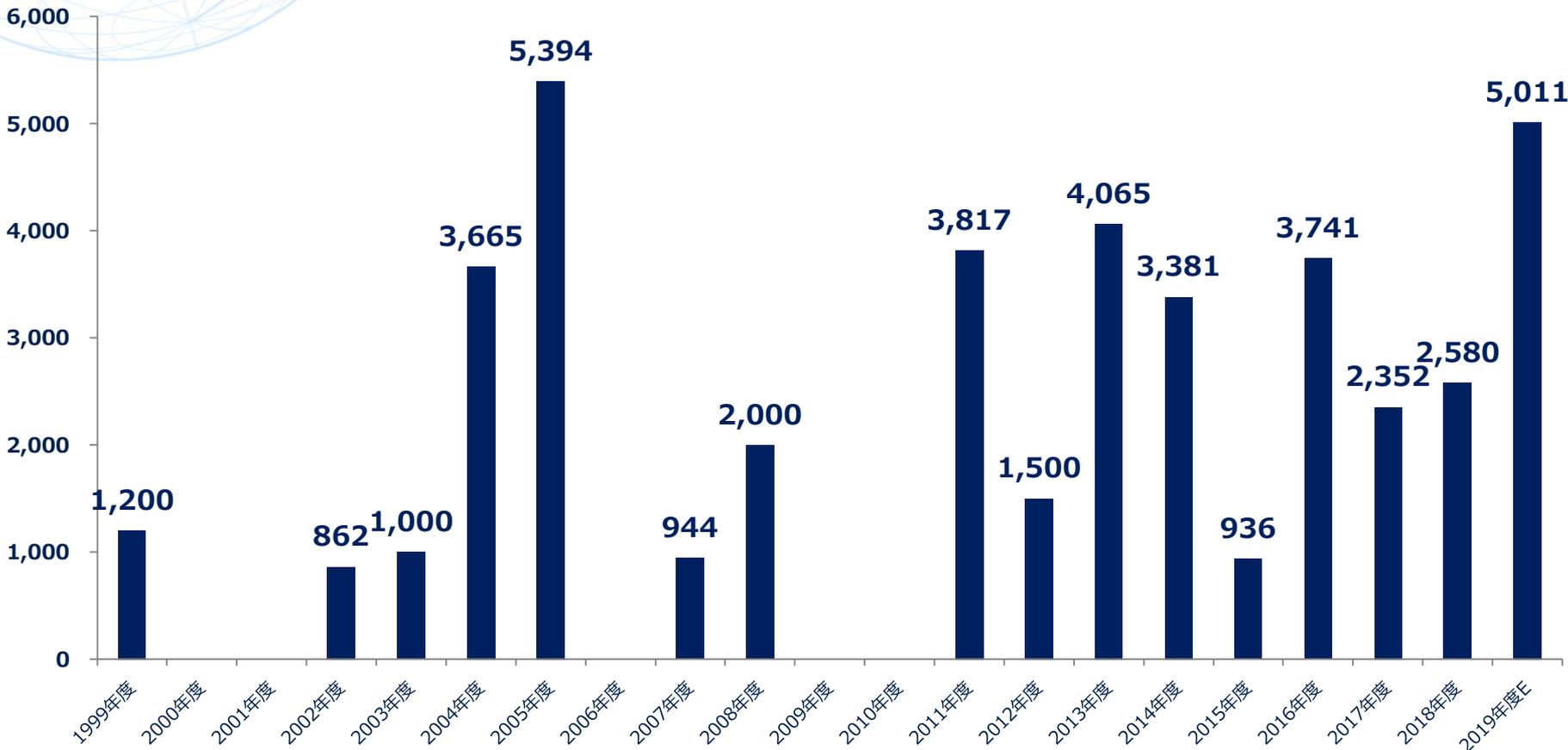
\*2 2020年1月7日時点の株価情報を基に算出

\*3 数値は2019年5月10日公表の業績予想ベース、株価は2020年1月7日時点の終値(2,784円)を基に算出

# 自己株式取得の推移

約4兆円の自己株式取得を実施

(億円)



# 株主さま向けの新たな取り組み

## ① 株式分割

## ② dポイント進呈

## 株式分割

### 概要

分割比率 **1対2**

分割基準日：2019年12月31日(火)

効力発生日：2020年1月1日(水)

### ポイント

ポイント1 投資単位当たりの金額が小さくなるために、**より投資しやすくなります**

ポイント2 保有しているNTT株の資産価値は変わりません

ポイント3 受け取る配当金総額は変わりません

#### 分割前

2019年度  
中間配当 95円×100株

2019年度  
期末配当(予定) 95円×100株

2019年度  
年間配当(予定) **19,000円**

#### 分割後

2019年度  
中間配当 95円×100株

2019年度  
期末配当(予定) **47.5円×200株**

2019年度  
年間配当(予定) **19,000円**

## dポイント進呈

当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々により長く保有していただくために、株主さま向けに「dポイント」を進呈

### ポイント

基準日時点（3月31日）で、100株以上保有し、保有期間が

2年以上3年未満 **1,500pt**

5年以上6年未満 **3,000pt**

（初回のみ 2～4年目:1,500pt 5年以上:4,500pt/ 基準日 2020年3月31日）

- ・ 進呈時期 : 2020年6月末以降、エントリーいただいた方へ順次進呈  
(詳細は、当社ホームページで2020年1月末にご案内いたします)
- ・ dポイント : ドコモの携帯電話料金や、街のお店など、色々なシーンでご利用いただけるポイントです

- 
- 株主還元
  - **NTTグループ概要**
  - 中期経営戦略
  - 本日のまとめ

# NTTグループの体制

持株比率  
(2019.3時点)

64%

 <b>移動通信事業</b>	 <b>docomo</b>	<b>主要サービス</b> LTE携帯電話サービス等
-------------------	-------------------	-------------------------------

100%

 <b>地域通信事業</b>	 <b>NTT 東日本</b>  <b>NTT 西日本</b>	<b>主要サービス</b> インターネット接続サービス（光回線）等
-------------------	--	--------------------------------------

100%

 <b>長距離・国際 通信事業</b>	 <b>NTT Ltd.</b>  NTT Communications  dimension data	<b>主要サービス</b> クラウドサービス、 データセンターサービス等
----------------------------	---	--

54%

 <b>データ通信事業</b>	 <b>NTT, Inc.</b> <b>NTT DATA</b>	<b>主要サービス</b> 基幹系情報システムソリューション、 ICTアウトソーシング等
--------------------	---	--

 <b>その他通信事業</b>	その他グループ会社  <b>NTT アプリケーションズ</b>	<b>事業内容</b> 不動産事業、金融事業、建築・電力事業、 システム開発事業等
--------------------	---	---

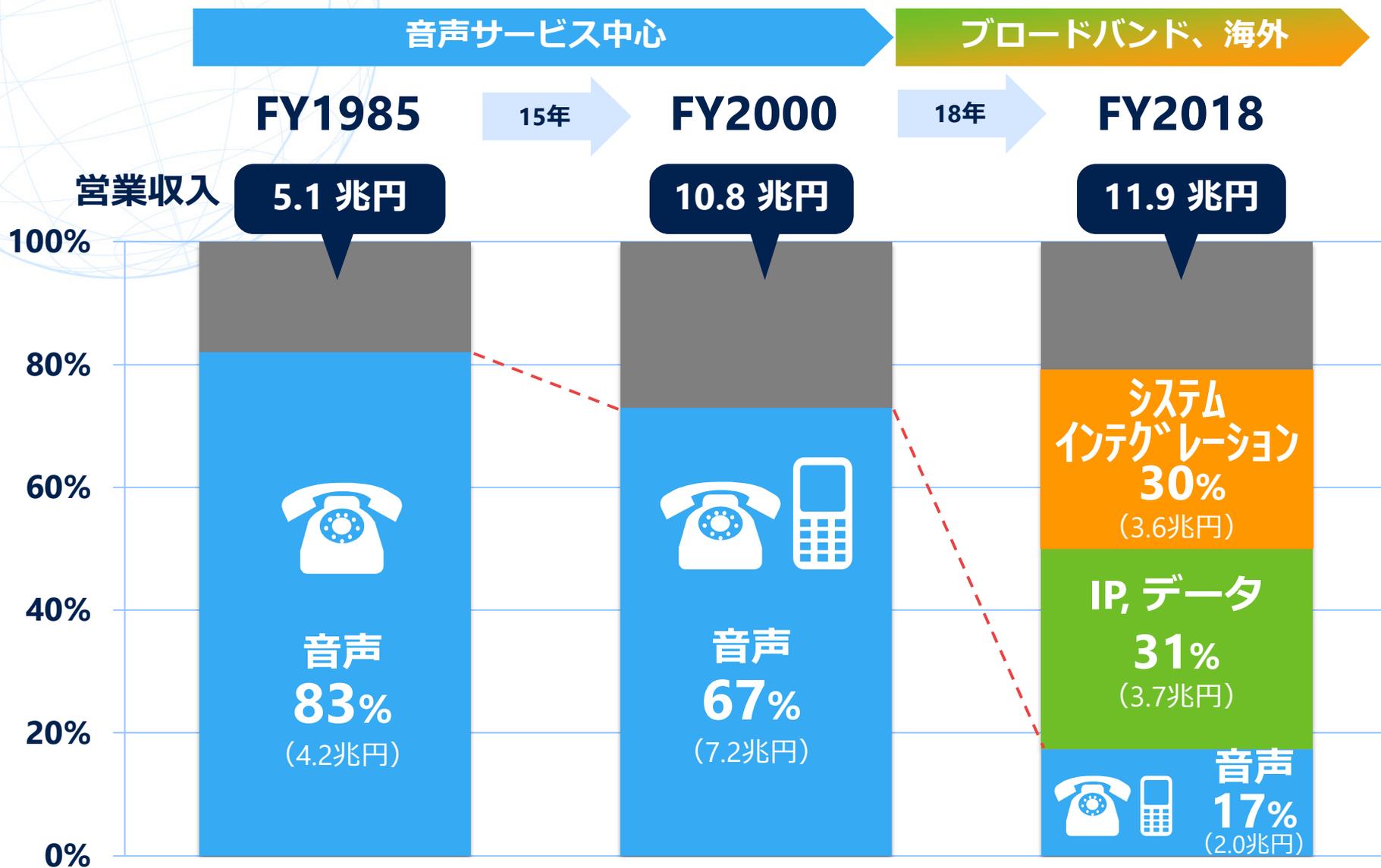
**NTT**

日本電信電話株式会社  
(持株会社)

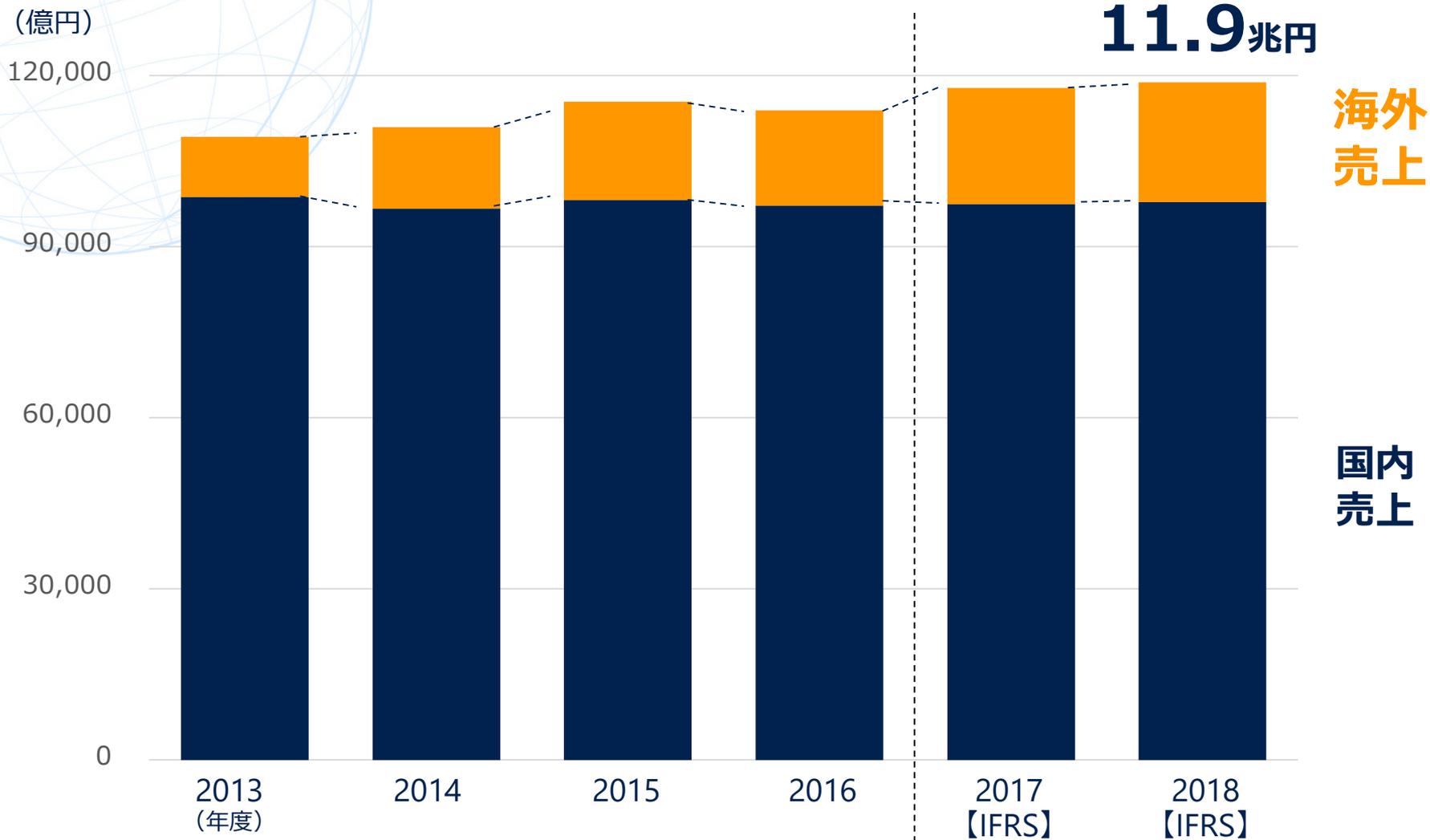
主な事業内容

NTTグループ全体の経営  
 戦略の策定及び基盤的研究開発の推進

# 事業構造の転換



# 営業収益の推移



# 2019年度 通期業績予想

- 営業収益・営業利益は増収・減益
- 当期利益・EPSは対前年増

## 連結収支計画

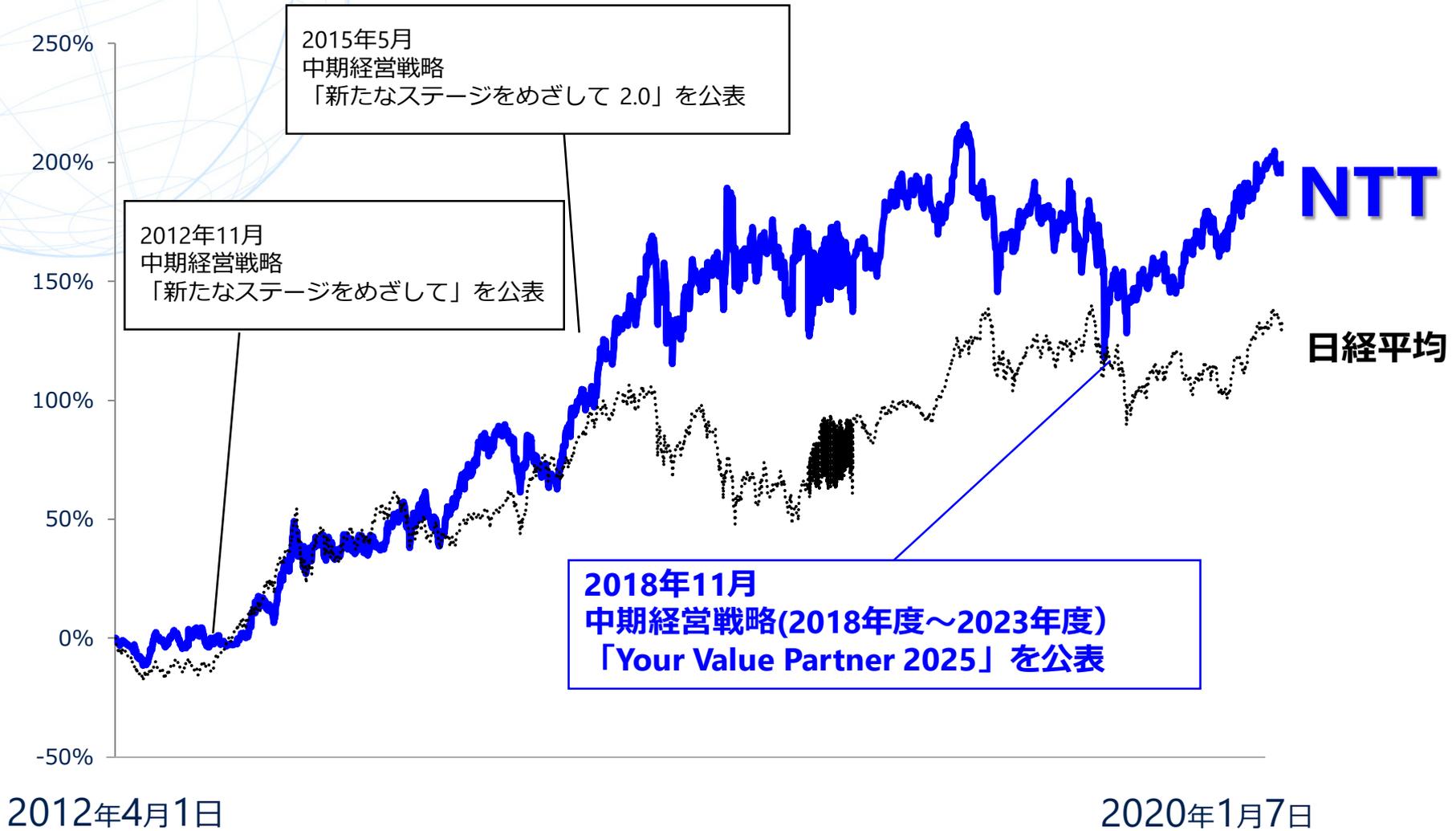
	2017年度実績	2018年度実績	2019年度 業績予想	対前年
営業収益	11兆 7,821億円	11兆 8,798億円	11兆 8,900億円	+ 102億円
営業利益	1兆 6,411億円	1兆 6,938億円	1兆 5,500億円	▲ 1,438億円
当期利益 ※1	8,479億円 ※2	8,546億円	8,550億円	+ 4億円
EPS※3	212円 ※2	220円	231円	+ 11円

※1 当期利益は、当社に帰属する当期利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

※2 Tata Sons Limitedからの仲裁裁定金受領影響を除く

※3 EPSは、2020年1月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を2株に分割）を考慮

# NTT株のパフォーマンス



- 
- 株主還元
  - NTTグループ概要
  - **中期経営戦略**
  - 本日のまとめ

# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

# 中期目標の推移

## EPS成長 ※1

利益拡大/自己株式取得



※1 EPSは、2020年1月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を2株に分割）を考慮  
 ※2 Tata Sons Limitedからの仲裁裁定金受領影響を除く  
 ※3 2019年9月に自己株式を取得したことにより、2019年度通期業績予想を228円から231円に見直し

## コスト削減（固定/移動アクセス系）



業務効率化や生産性向上、  
既存設備のスリム化等

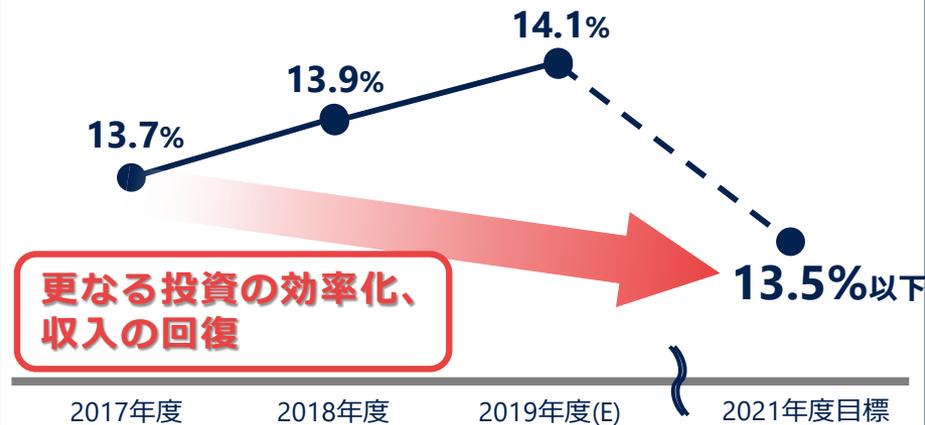
※金額は対2017年度削減額

## ROIC

資本効率の高い事業構造への変革



## Capex to Sales（国内ネットワーク事業）



更なる投資の効率化、  
収入の回復

お客さまのデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

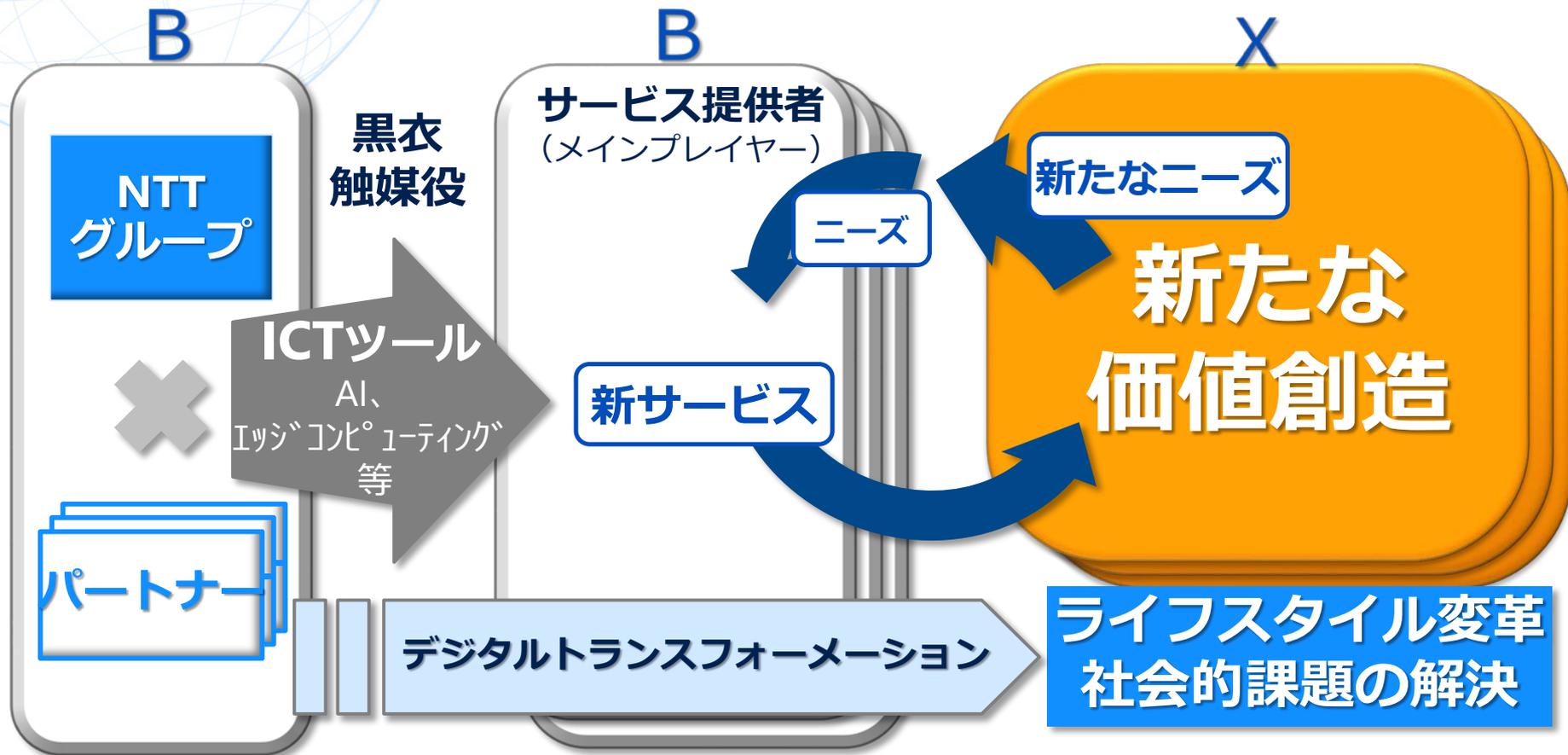
7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

# B2B2Xモデルへの取り組みの狙い

- 新たな価値創造の加速をめざし、多様なサービス提供者との協業を推進
  - サービス提供者のデジタルトランスフォーメーションをサポート
- ➡ 「黒衣」・「触媒役」として、ライフスタイル変革・社会的課題の解決に貢献



デジタルサービスやデータマネジメントを活用したB2B2Xモデルに更に進化

## B2B2Xモデルの推進

	2019年度 第2四半期末時点 (2019年9月末時点)	『Your Value Partner 2025』 発表時点 (2018年10月末時点)
<b>B2B2Xモデルプロジェクト数</b>	<b>54 (+41)</b>	<b>13</b>

- 東京メトロと「東京の魅力・活力の共創」をめざし、混雑緩和・円滑な輸送の提供実現に向けた協業開始（2019年7月29日）
- 南座新開場記念「八月南座超歌舞伎」開催（2019年8月2日～8月26日）
- 金融機関の新たな融資サービスの提供をサポート
  - 「ドコモ レンディングプラットフォーム」提供（NTTドコモ 2019年8月29日）
- コンタクトセンター業界のVOC※データ分析をサポート
  - 「Q&A Generator」「高度FAQコンサルティングサービス」提供（NTT西日本 2019年9月10日）

※Voice Of Customer：お客様の声

# ラスベガス市 Smart City案件



ラスベガス市

警官・消防車の派遣などによる

発生した事件・事故への迅速な対応

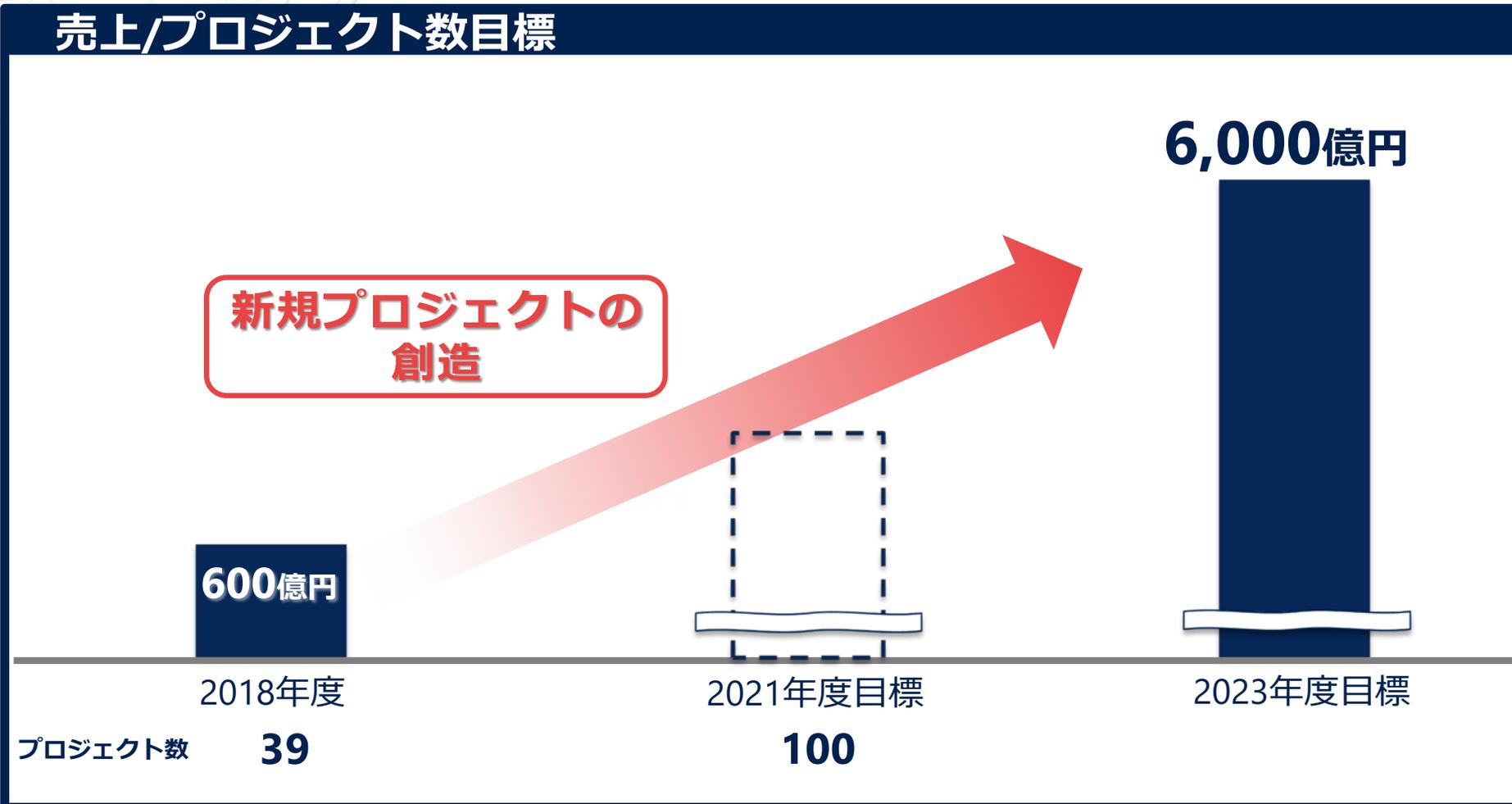
事件・事故を最小限に抑える対応



# B2B2Xモデルの推進

- B2B2Xプロジェクト数：54（2019年9月末時点）
- B2B2X売上目標の設定：6,000億円（2023年度）

## 売上/プロジェクト数目標



# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

# ドコモ 5Gの取り組み

## 9月20日より5Gプレサービスを全国で展開中

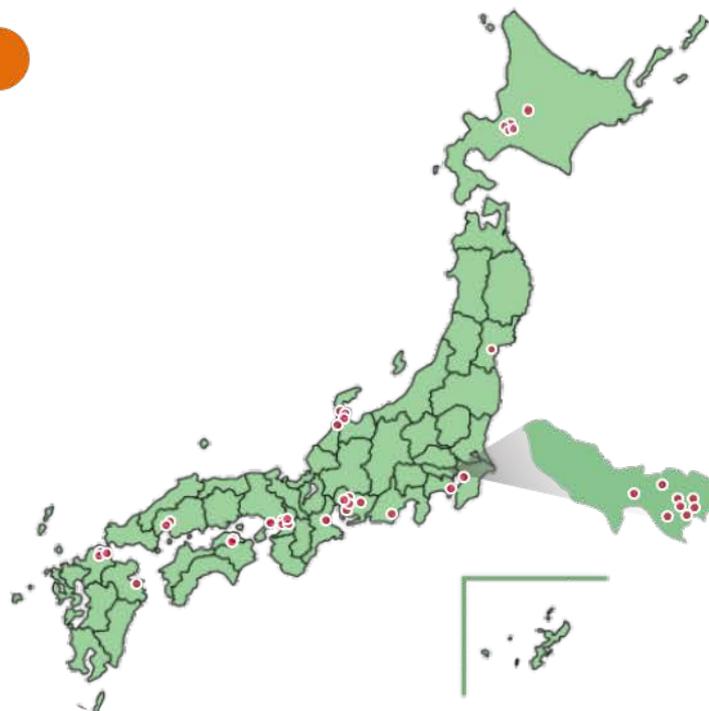
### 5Gサービスの体感



### マルチアングル視聴



### 高臨場ライブビューイング



### 順次5Gエリアを展開中

### パートナーとの協創



### 遠隔監視



### 遠隔ゴルフレッスン

今後も様々な5Gサービス、ソリューションを創出  
ドコモ5Gオープンパートナープログラム パートナー数3,000以上  
(2019年9月末時点)

## 全国各地で5Gネットワークを構築

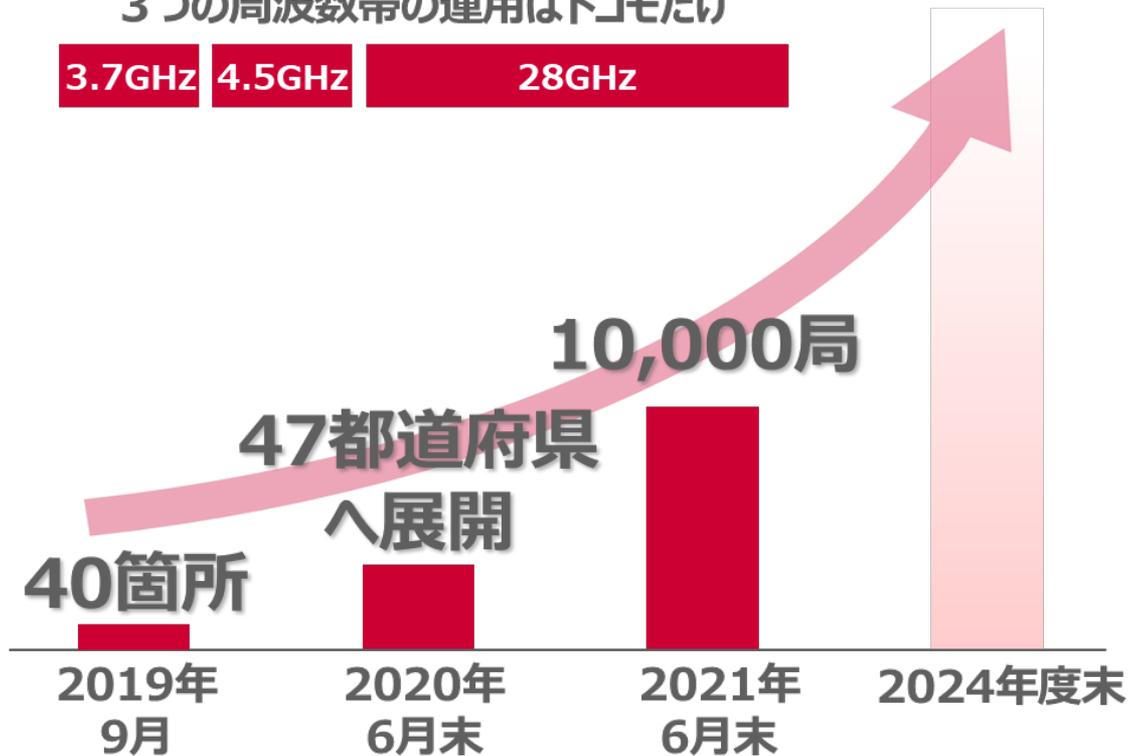
日本No.1  
基盤展開率  
97.02%



5G  
技術者  
10,000人



3つの周波数帯の運用はドコモだけ



◆ 5G基盤展開率については、2024年度末までの計画値

# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

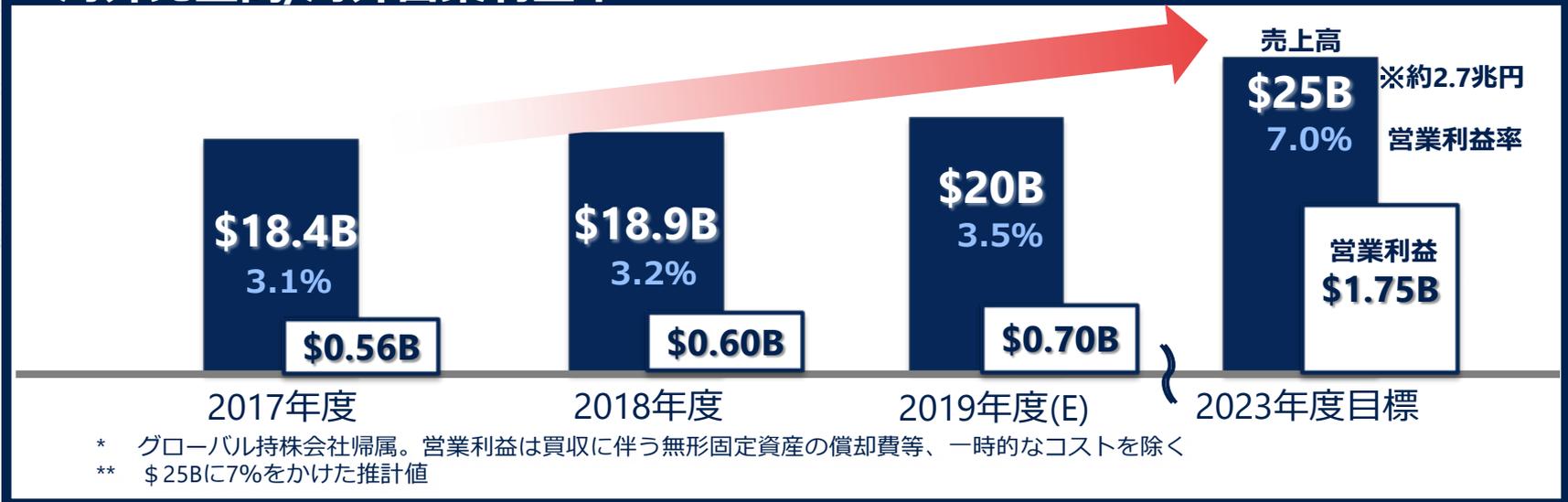
人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

## 海外売上高/海外営業利益率

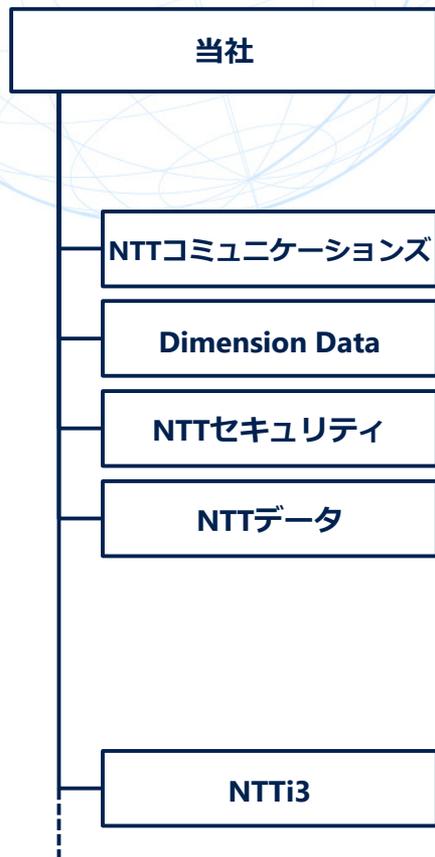


## 従業員数

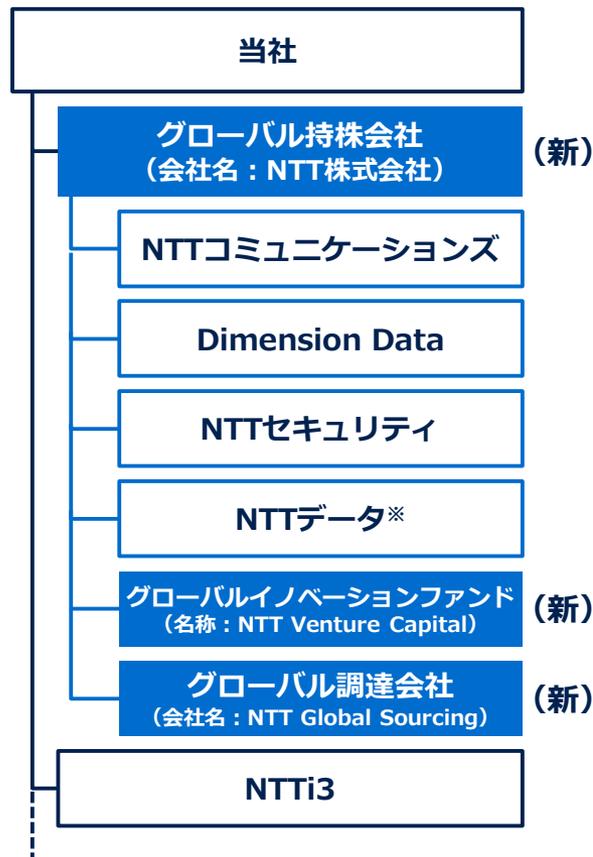


# グローバル事業の成長

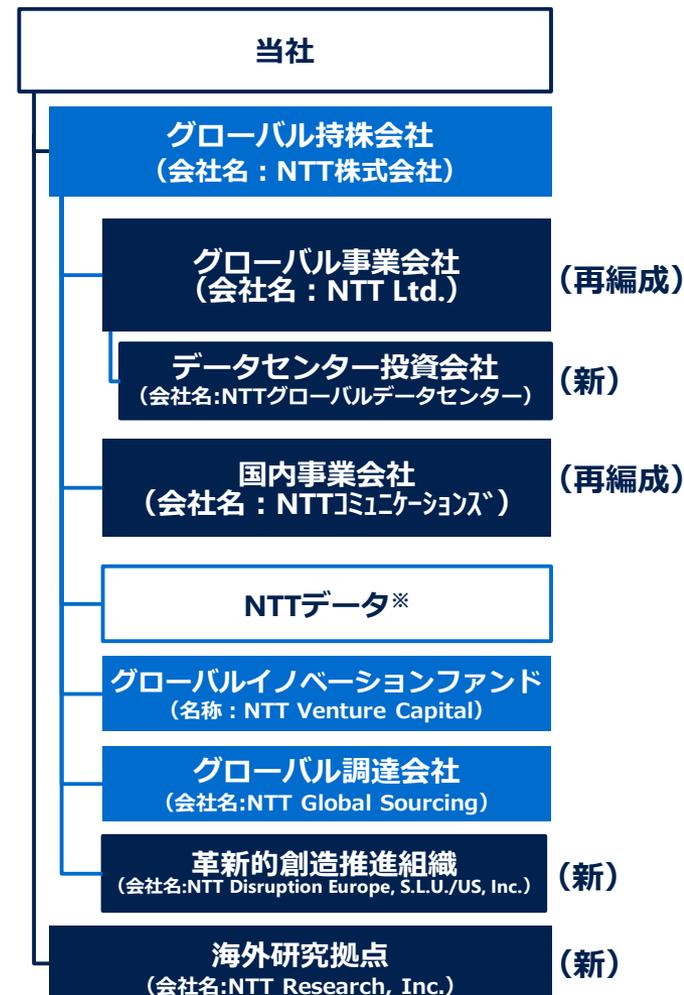
2018年8月



2018年11月



2019年7月



\* NTTデータは現在の経営形態のままグループ各社と連携、上場を維持

## グローバル事業会社 概要

- NTTコミュニケーションズ、Dimension Data、NTTセキュリティの海外事業を統合し、NTTブランドの事業会社「NTT Ltd.」として営業開始（2019年7月1日）
- 再編から2年後を目途に、マネージドITサービスを中核とする事業会社へ転換



## グローバル事業の競争力強化

- Major League Baseball (MLB) とテクノロジーパートナーシップを締結 (2019年9月4日)

- NTTの最先端技術「Ultra Reality Viewing」による高臨場感ライブビューイングに成功 (2019年10月7日)



ライブビューイング会場-MLB Network本社内-  
(ポストシーズンゲーム：アストロズvsレイズ戦-2019年10月7日)

- 「インディカー・シリーズ」「ツール・ド・フランス」等の世界的なスポーツイベントを通じた、NTT ブランディングの強化と、新たなファン体験を提供



OFFICIAL PARTNER OF MAJOR LEAGUE BASEBALL

MLB公式ロゴ



「インディカー・シリーズ」公式ロゴ



OFFICIAL TECHNOLOGY PARTNER

「ツール・ド・フランス」公式ロゴ

## ① 革新的創造推進組織の設立

- 最先端技術を活用した顧客との協創の推進

短期

## ② グローバルイノベーションファンドの設立

- グローバル市場で成長が見込めるテクノロジー領域を中心とした投資を活発化するためグローバルイノベーションファンドを設立
  - ファンド名 : NTT Venture Capital, L.P.
  - 所在地 : 米国

中期

## ③ NTT Research, Inc.の設立

- 世界に変革をもたらす革新的研究開発の推進
- 海外起点の基礎研究を強化

長期

## NTT Research Inc.の設立

量子計算科学

NTT PHI Labs.

PHysics & Informatics



所長 山本喜久

NTT Research, Inc.

2019年7月 米Silicon Valleyに開設  
さらにグローバル展開へ

暗号情報理論

NTT CIS Labs.

Cryptography & Information Security



所長 岡本龍明

生体情報処理

NTT MEI Labs.

MEDical health science & Informatics



所長 友池仁暢

# 中期経営戦略の柱

お客さまのデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

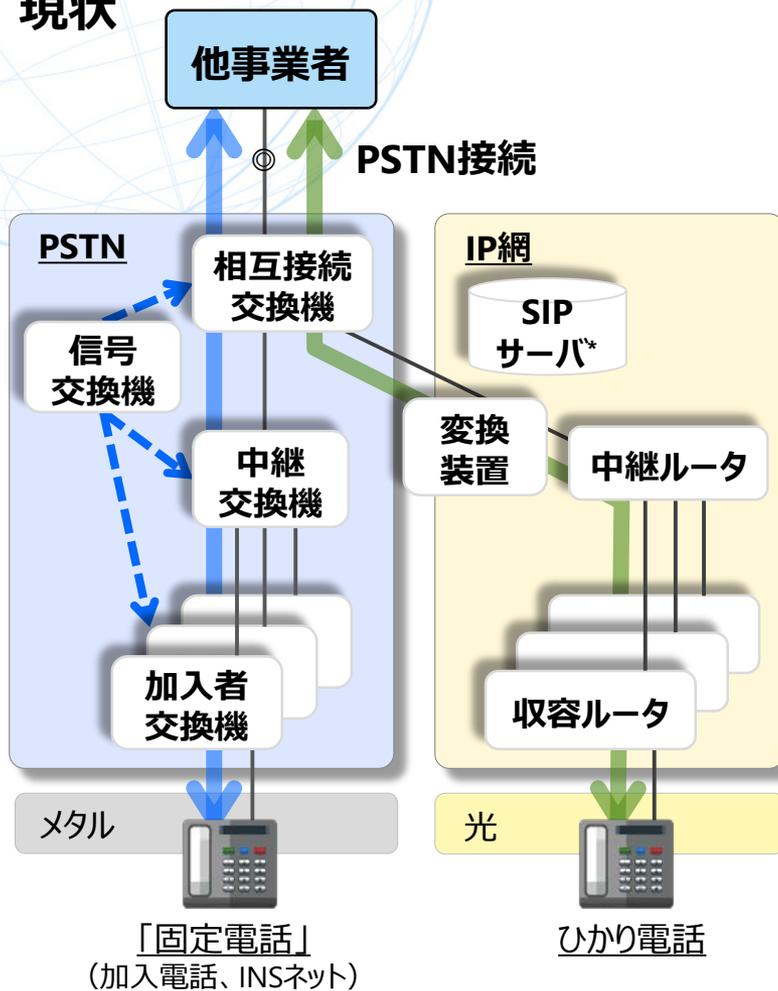
7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

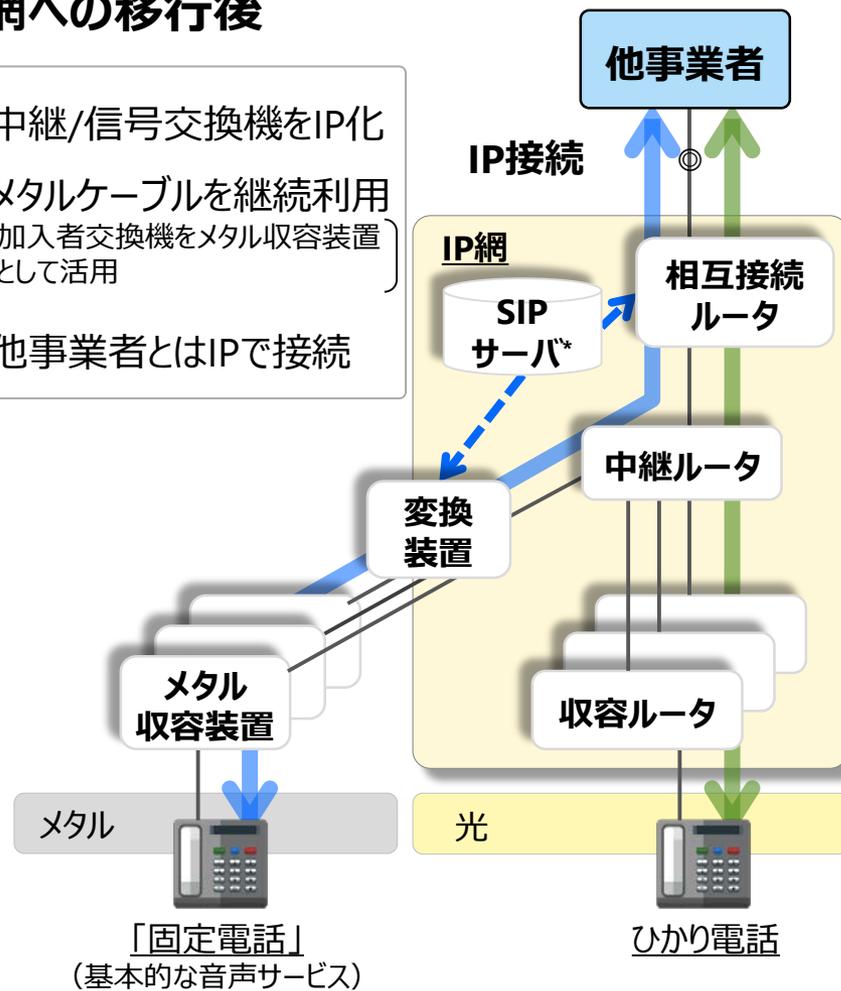
# 「固定電話」の今後について <IP網への移行イメージ> NTT

現状



IP網への移行後

- 中継/信号交換機をIP化
- メタルケーブルを継続利用  
〔加入者交換機をメタル收容装置として活用〕
- 他事業者とはIPで接続

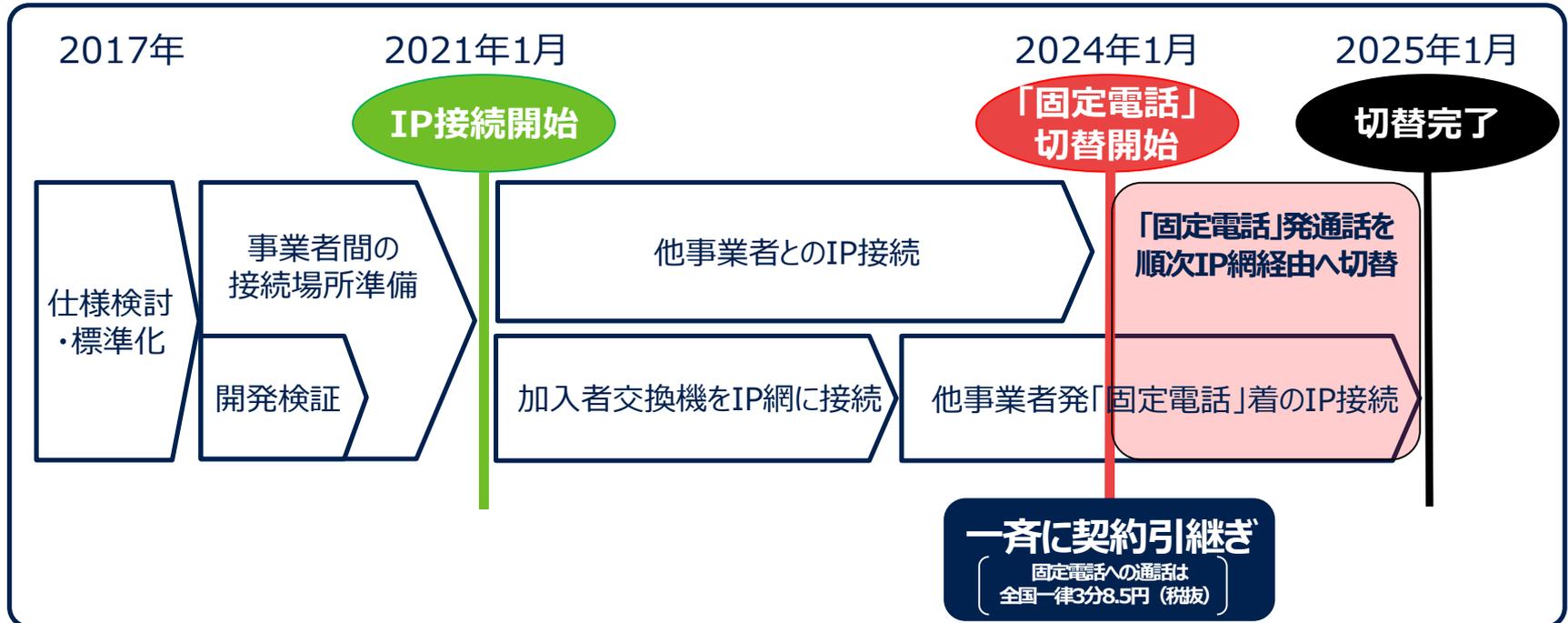


\* IP網における電話サービスの管理・制御を行なうサーバ (SIP: Session Initiation Protocol)

# PSTNマイグレーションの推進

## IP化により、サービスもネットワークもシンプルに

- 固定電話への通話料は全国一律3分8.5円へ（2024年1月開始）
- 中継/信号交換機をIP化、他事業者とはIPで接続（2025年1月完了）
- メタルケーブル、メタル収容装置（現:加入者交換機）は継続利用



# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

- 世界に変革をもたらす革新的研究開発の推進
- 海外起点の基礎研究を強化

## ■ 海外への更なる発信・展開

### 1. 成果のグローバル展開

- デリバリとローカライズ体制の強化

### 2. 研究ターゲットのグローバル化

- グローバルニーズに対応したR&Dの強化

### 3. 海外に研究拠点設立 (NTT Research, Inc.)

- ニーズの収集と世界最先端の基礎研究を強化



グローバルでの  
世界一・世界初、  
驚きの創出

## IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) とは？

- 光ファイバ、伝送装置、端末、半導体全てに光技術を使ったオールフォトニクスネットワークを実現する構想

光技術による「伝送」  
電子技術による「処理」

光電融合型の処理

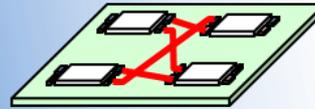
光伝送の短距離化



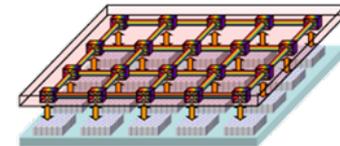
光ファイバ通信  
(>1 km)



データセンタ内光伝送  
(数m - 数100 m)

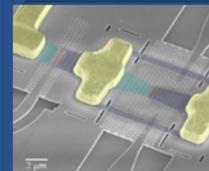


CMOSチップ間光伝送  
(mm - cm)



チップ内のコア間光伝送  
チップ内の光信号処理  
(< 1mm)

2019.4.16報道発表



超低消費電力で高速動作可能な  
光トランジスタ  
「Nature Photonics」掲載

# オールフォトリクスネットワークへの取組み

ネットワークに接続されるすべてのデバイスを対象とし、短距離から長距離伝送に至るすべての情報伝送と中継処理について、フォトリクス処理を適用

⇒あらゆる場所に光の処理を適用していくことをめざす

現在

ネットワーク

光

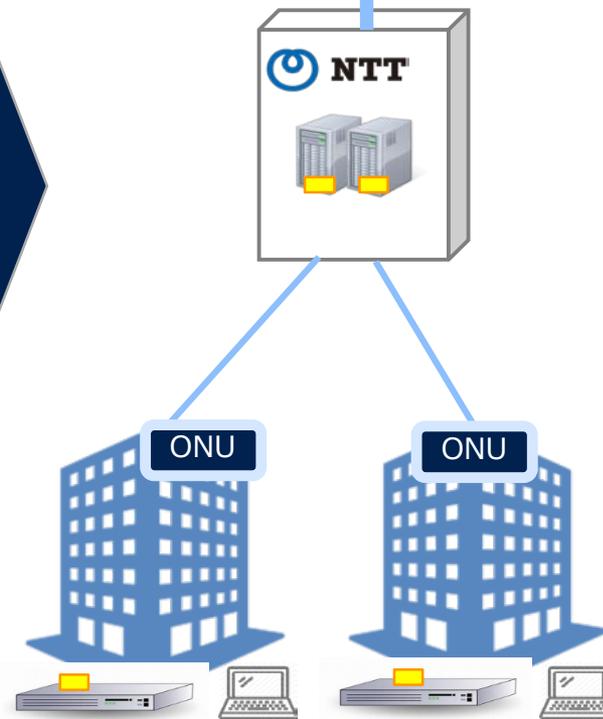
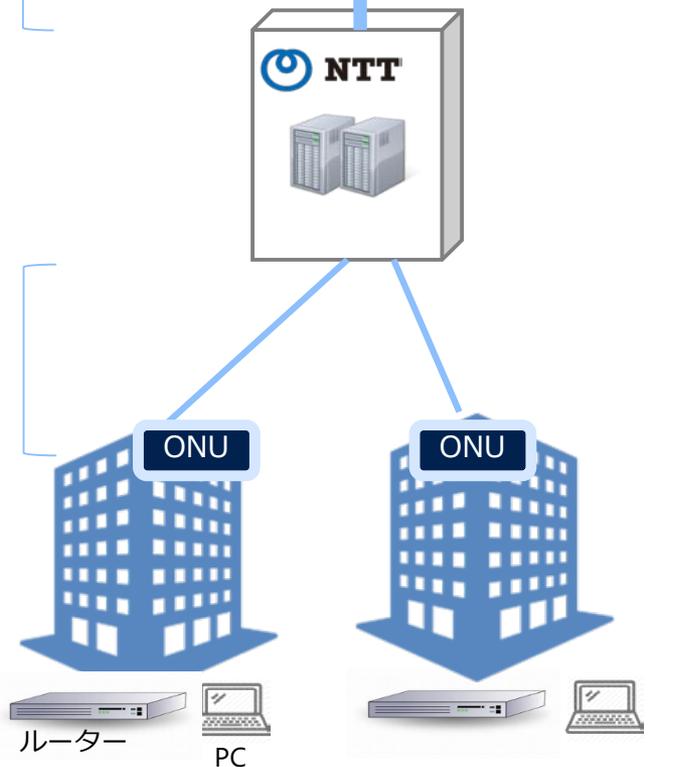
将来

ネットワーク

電気

光

電気



## IOWN (Innovative Optical and Wireless Network) のめざす性能

- 圧倒的な低消費電力、大容量・高品質、低遅延なネットワークが実現可能

### 低消費電力

消費電力 **99%減\***

伝送媒体

光ファイバケーブル



伝送装置

光(波長)スルー



情報処理基盤

光電融合素子



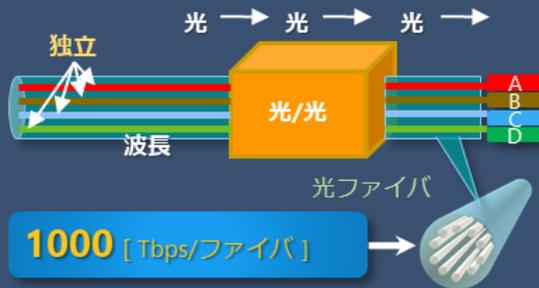
1 / 100の低消費電力で各種情報通信サービスを提供

※フォトニクス技術適用部分の電力効率の目標値

### 大容量・高品質

伝送容量 **125倍\***

・波長 (光信号)



瞬きの間 (0.3秒) に2時間の映画を1万本ダウンロード可能 (5Gでは3秒で1本可能)

※ 光ファイバ1本当たりの通信容量の目標値

### 低遅延

エンドエンド遅延 **1/200\***

- ・波長単位で伝送
- ・待ち合わせ処理不要
- ・データの圧縮不要

波長A

大容量動画(非圧縮)

処理遅延なし

波長B

音声

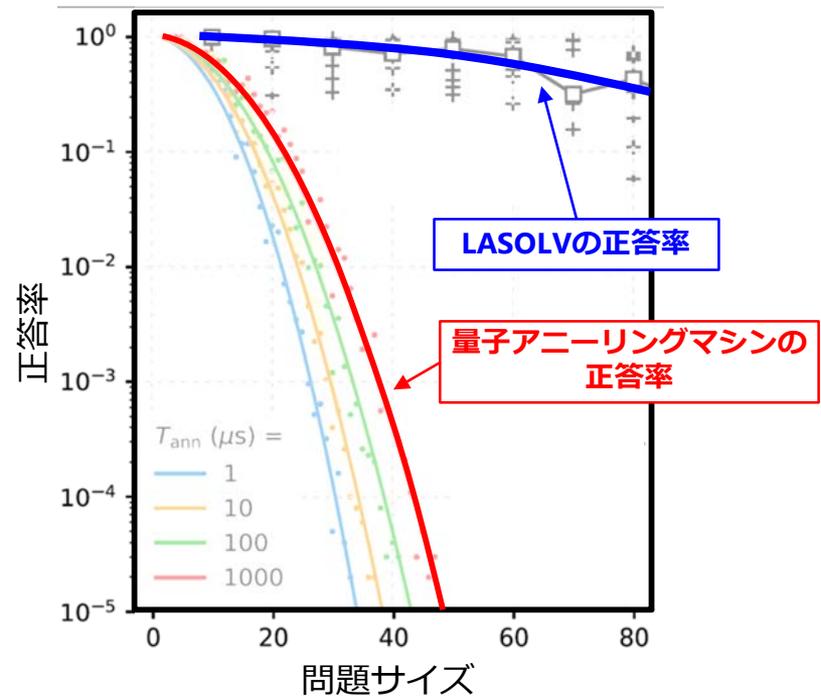
デジタルテレビや衛星放送のような遅延なしに、リアルタイムで映像を伝送

※同一県内で圧縮処理が不要となる映像トラフィックでの遅延の目標値

## 光を用いたコヒーレントイジングマシンの開発

- 様々な最適化問題を、光を用いて高速に解く新しい計算機
- 複雑なグラフ構造の問題を他方式と比較し高い正答率で解けることを実証

 **LASOLV**



**LASOLVと量子アニーリングマシンの比較\***

(\*辺密度50%のMAXCUT問題を解いた際の正答率)

# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. **新事業の取組み（不動産利活用 等）**
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

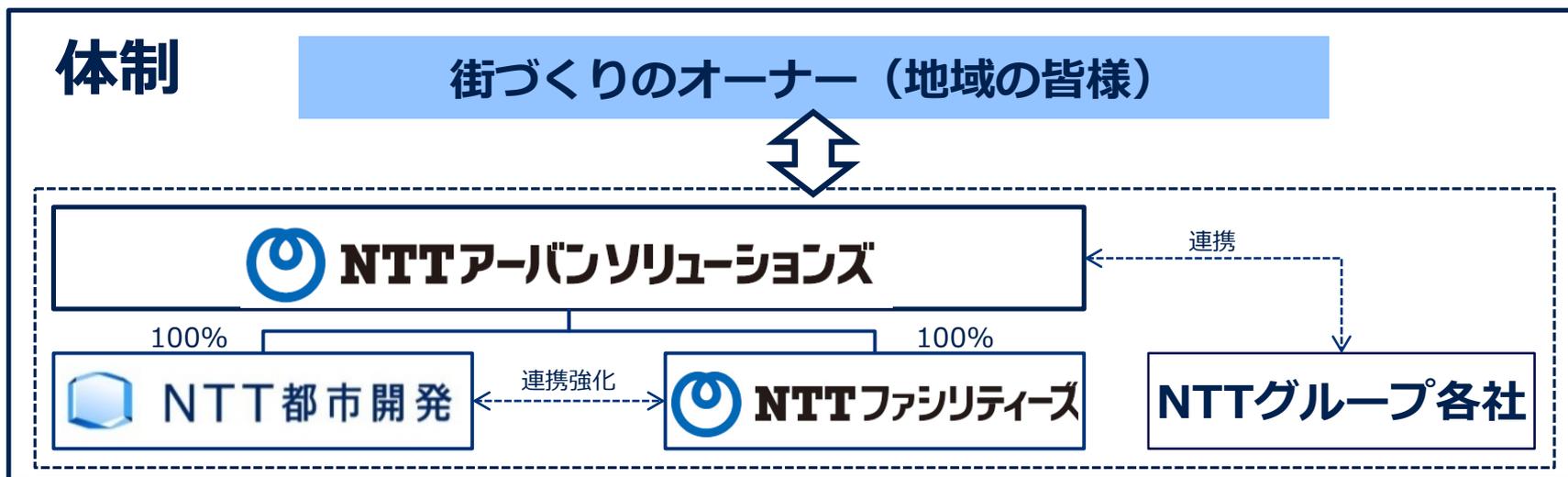
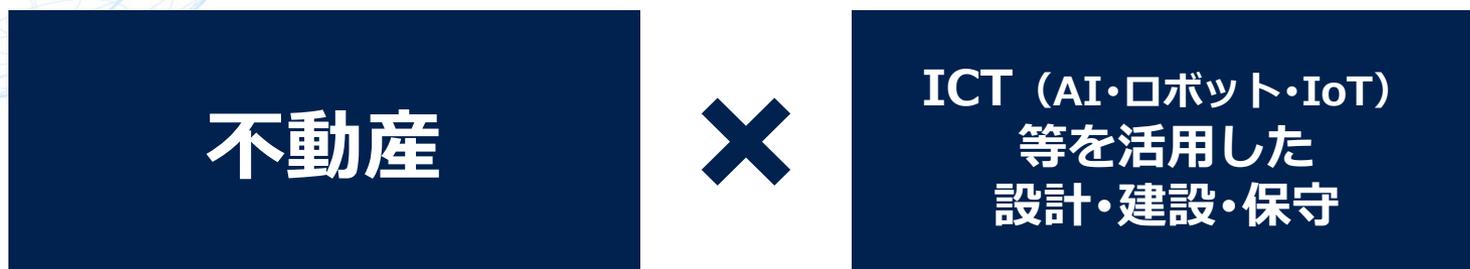
ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

# 人・技術・資産を活用した新事業の取組み<sup>NTT</sup>

## ～不動産事業（街づくりの推進）～

グループで持つ不動産やICT・エネルギー・環境技術等を最大限活用し、  
従来の不動産開発にとどまらない新たな「街づくり」(街のデジタル化)推進



# 人・技術・資産を活用した新事業の取組み **NTT**

## ～スマートエネルギー事業～

### スマートエネルギー事業の推進

- エネットの連結子会社化（2019年5月10日）
- 「NTTアノードエナジー」を設立（2019年6月3日）
- NTTアノードエナジー傘下にエネット及び  
NTTスマイルエナジーを再編（2019年10月完了）
- NTT保有物件における直流送電の実証実験を開始  
（NTTアノードエナジー 2020年3月予定）

2019年6月

2019年9月

会社設立

事業開始に向けた  
申請・届出

事業開始

発電

- ・グリーン電力発電事業

送配電/蓄電

- ・VPP（仮想発電所）事業
- ・高度EVステーション事業
- ・バックアップ電源事業

小売/卸売

- ・電力小売/卸売事業

2025年度  
（目標）

売上規模  
6,000億円※

※NTTグループにおける  
エネルギー関連事業の  
売上規模

# 人・技術・資産を活用した新事業の取組み<sup>NTT</sup>

## ～スマートエネルギー事業～

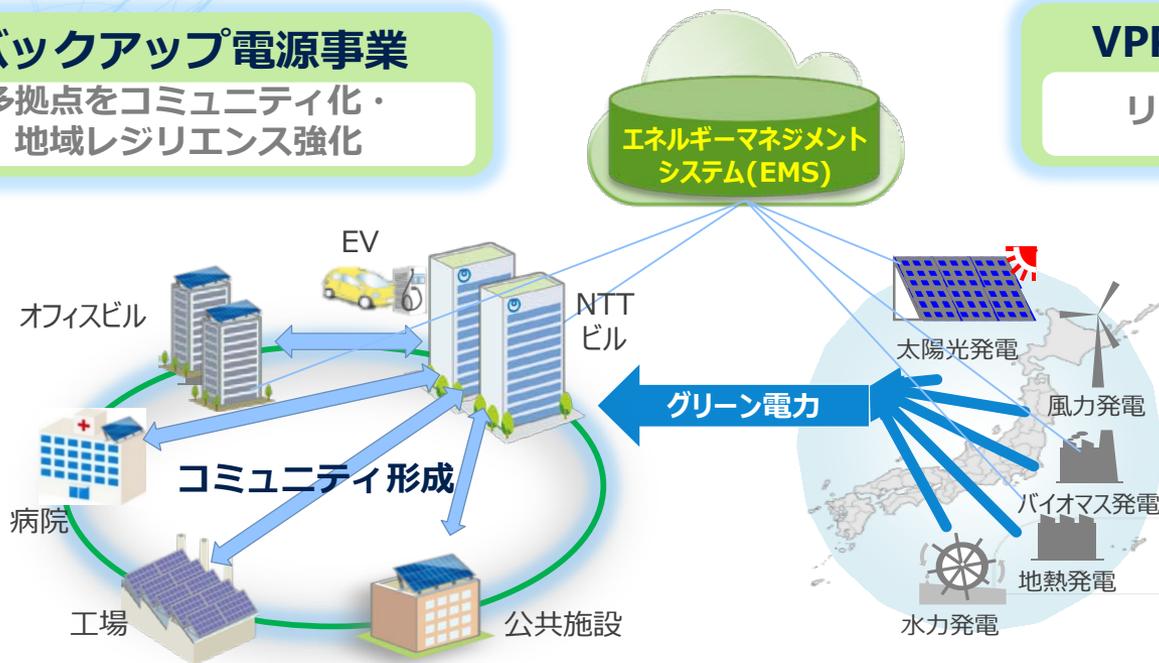
### 5つの事業を展開

#### バックアップ電源事業

多拠点をコミュニティ化・  
地域レジリエンス強化

#### VPP(仮想発電所)事業

リソース集約・需給調整



#### グリーン電力 発電事業

地産地消電源・  
環境価値活用

#### 新サービス事業

EV充電環境の整備・  
エネルギーデータプラットフォーム提供

売上規模:6,000億円  
(2025)

#### 電力小売事業

環境価値のあるエネルギー提供

# 人・技術・資産を活用した新事業の取組み<sup>NTT</sup>

## ～メディカルサイエンス事業～

### ビッグデータ解析による健康経営支援

- NTTグループの持つデータ解析技術、セキュリティ技術等を活用し、健康増進に資するレコメンド提供事業を実現

Well-being  
の実現

健康経営を推進する企業の従業員

健診機関を通じたレコメンド提供  
(個人の体質に合わせた生活習慣等の改善方法)

データ解析による健康情報

ヘルスケアデータ

ゲノム情報 × 健診情報  
行動情報

ICT

(ビッグデータ解析  
AI技術  
セキュリティ)

研究機関  
ベンチャー企業  
等

アライアンス  
パートナー

 **NTTライフサイエンス** (新会社設立)

# 中期経営戦略の柱

お客様のデジタル  
トランスフォーメーション  
をサポート

1. B2B2Xモデル推進
2. 5Gサービスの実現・展開
3. パーソナル化推進

自らのデジタル  
トランスフォーメーション  
を推進

4. グローバル事業の競争力強化
5. 国内事業のデジタル  
トランスフォーメーションを推進
6. PSTNマイグレーションの推進

人・技術・資産  
の活用

7. 研究開発の強化・グローバル化
8. 新事業の取組み（不動産利活用 等）
9. 地域社会・経済の活性化への貢献
10. 災害対策の取組み

ESG経営の推進、株主還元の充実による企業価値の向上

スマートな社会 = Smart World 実現への貢献

## 環境

### Environment

- 環境負荷の低減
- ICT利活用による環境への貢献

等

## 社会

### Social

- ダイバーシティの推進
- 個人情報保護の徹底
- お客様のセキュリティ強化を支援
- 災害対策の強化

等

## ガバナンス

### Governance

- コーポレートガバナンスコードの趣旨を踏まえた体制の強化
- グローバルガバナンスの強化

等

- ◆ 事業機会の拡大
- ◆ 事業リスクの最小化



持続的な  
企業価値の向上

## 社外・女性取締役の充実

- 取締役会の監督機能の強化及びコーポレートガバナンスの向上を図り、あわせてダイバーシティを推進する観点から、社外取締役を2名増員するとともに女性取締役を初めて2名登用

### 【現在】

取締役 [社内]	10名 (0名)
取締役 [社外]	2名 (0名)
合計	12名 (0名)

監査役 [社内]	2名 (1名)
監査役 [社外]	3名 (1名)
合計	5名 (2名)

### 【新体制】

取締役 [社内]	11名 (1名)
取締役 [社外]	4名 (1名)
合計	15名 (2名)

監査役 [社内]	2名 (1名)
監査役 [社外]	3名 (1名)
合計	5名 (2名)

( ) 内は女性役員

# ESGに関する外部からの評価

MEMBER OF

**Dow Jones  
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM 



FTSE4Good

**MSCI** 

2019 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数



FTSE Blossom  
Japan

**S&P/JPX  
カーボン  
エフィシエント  
指数**

- 
- 株主還元
  - NTTグループ概要
  - 中期経営戦略
  - **本日のまとめ**

**株主還元の充実を図るとともに、株式分割やdポイント進呈などの新施策を実施**

**5Gの展開やグローバル再編など、中期経営戦略は順調に進捗**

**将来の成長に向けて研究開発の強化や新規事業の推進にも取り組み中**



***Your Value Partner***